

広報

わかた

昆布って長いんだあ～

食育教室(中央保育所)

4

2008

No. 36

子どもは町の宝です



全国で少子化が社会問題化している中、若狭町においても様々な社会的要因を背景に少子化が進行しています。

少子化が与える影響は計り知れず、経済をはじめ、産業や教育など町の発展に関わる広い分野におよびます。

いつまでも、輝かしい町であるために、若狭町では安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいきます。

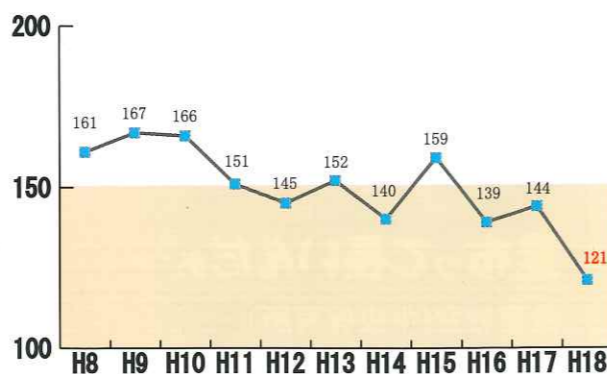


若狭町の人口は確実に減っています

平成18年の若狭町の年間出生数は121人で、平成17年と比較すると23人の減少となり、極めて大きな減少幅でした。長期的に見ても、過去10年間の推移は右肩下がり、子どもの数は確実に減っていることがうかがえます。

また、1人の女性が生涯に産む子どもの人数を示す「合計特殊出生率」は1.43人と、人口を維持するために必要な数値である2.08を大きく下回り、福井県の平均1.50をも下回る結果となりました。

【若狭町の過去10年間の出生数の推移】



少子化の原因は何か…

このような深刻な事態となっている少子化に歯止めをかけるため、若狭町では平成19年度から少子化対策、子育て、保育などを受け持つ「子育て支援課」を新たに設けて、子育てについて積極的に取り組んでいます。

また、昨年5月には、子育てに関係する各種団体の代表者で構成する「児童福祉審議会」を設け、

少子化対策、子育て支援プランの策定や保育所の将来構想などについて検討を重ねてきました。

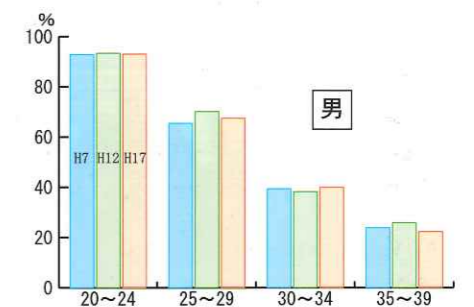
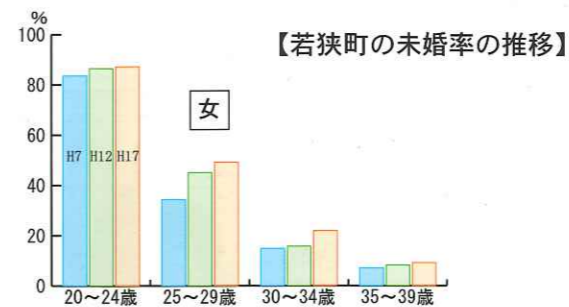
審議会で検討を重ねていく上で、少子化について様々な原因が浮かび上がってきました。

1つ目は高学歴社会の到来と地元での就職難などによるUターン者の減少。また、住環境への不満を背景とした結婚後の転出など、

若者の定住人口の減少が一因であると考えられます。

2つ目は、若者のライフスタイルの変化や結婚への価値観の変化などによる晩婚化・未婚化による婚姻数の減少。

3つ目は、晩婚化や核家族化、経済的負担の影響による出生数の減少が考えられます。



少子化歯止めの打開策！

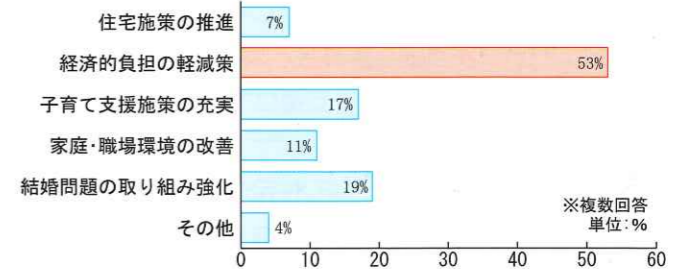
若狭町では住民の子育てについての意識などを把握するため「少子化対策・保育所運営に関するアンケート」を昨年9月に実施しました。

アンケートは、町内在住の20歳以上の男女1,000人を無作為抽出して行い、46%（男35%、女57%）の皆さんから回答をいただきました。

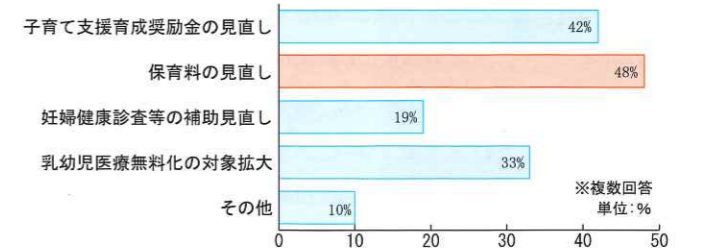
設問のうち「少子化に歯止めをかけるため最も重点的に取り組むべき対策は何か」との問いに対し「経済的負担の軽減策」が53%と最も多い結果となりました。また、「子育て家庭の経済的負担を軽減する方策として、若狭町として平成20年以降、最も重点的に取り組むべき子育て支援策は何か」との問いに対し「保育料の見直し」が48%と最も多く、続いて

「子育て支援育成奨励金の見直し」が42%、「乳幼児医療無料化」が33%と高い結果が得られました。

設問 少子化に歯止めをかけるため、実施を検討している6施策のうち最も重点的に取り組むべき対策を選んでください。



設問 子育て家庭の経済的負担を軽減する方策として、若狭町として平成20年度以降最も重点的に取り組むべき子育て支援策を選んでください。



子育て支援の充実を！



村松貴子さん(写真左/グリーンハイツ)
杏樹ちゃん
奥本千里さん(写真右/玉置)
那瑠ちゃん

保育所に2人入所していると2人目は半額ですが、年齢が空いて生まれ、2人入所していないと全額になってしまいます。第2子なら半額にしていたらとありがたいです。
女性の晩婚化は、結婚すると女性が犠牲になることが多いと思われているのも一因かと思えます。長い間独身していると経済的にもゆとりができて不自由なこともなくなりまし...



岡林ひとみさん
凌空くん
(鳥浜)

出産時に祝い金は大変ありがたいのですが、出産費用にほとんど費やされてしまうのが現状で、ベビー用品が少し購入できるぐらい助成を増やしていただくとありがたいです。
また、3人目からいろんな面で優遇されていますが、現在は1人か2人出産の時代なので、2人目から優遇してはどうでしょう。

子どもと遊べる公園や屋内施設がもっとあるとうれしいです。
若狭町では5人目を出産すると100万円もらえますが、少子化を解消するには3人目を出産することがいいのではないのでしょうか...。例えば、3人目を出産すると100万円もらえるといいですね。



渡辺光世さん(白屋)
悠大くん

冬季は屋外に出られず、親子で遊ぶ場所が限られてしまいます。親子で交流がもて、ほかのお母さんとも交流ができる屋内施設があるとうれしいです。
子どものことで休暇などを取りやすい環境を会社など事業所もつくってくれれば、仕事と育児を両立でき、少子化対策になるのではないのでしょうか。



山田麻由子さん(写真左/三カ)
あいちゃん
小岩麻美さん(写真右/あじさい団地)
優芽ちゃん

住民意見を反映して答申

若狭町児童福祉審議会では諮問を受けた内容のうち、少子化対策について2回の小委員会と5回の審議会を経て12月12日に少子化・子育て支援についての答申を行いました。

答申の内容は、少子化の現状と分析、住民アンケートを基に、経済的負担の軽減をはじめ、子育て環境の整備や結婚問題、住宅施策など6項目を重点施策として位置付け、その具体案が示されました。

町ではこの答申を受けて、経済的負担の軽減策となる事業を拡充することとし、平成20年度予算に盛り込みました。特に子ども医療費助成事業は就学前(満6歳)までを無料としていましたが、平成20年度からは小学校卒業(満12歳)までを無料と大幅に対象を拡大しました。これは県内では初の取り組みと注目を集めています。



答申内容を報告する審議会代表



審議会の模様

平成20年度

子育て支援事業を**拡充**します!!

少子化対策事業を約4200万円増額!

■拡充する事業内容

拡充する事業	平成19年度(従来)	平成20年度(改正後)	予算比較 (平成19年度当初比較)	備考
子ども医療費助成事業	就学前(満6歳)までの乳幼児の医療費を助成 【予算額】3,224万円	小学校卒業(満12歳)までの乳幼児・児童の医療費を助成 【予算額】5,116万円	+1,892万円	県内初 6月1日より実施
出産祝い金支給事業	第1~4子 50,000円 第5子以降1,000,000円 【予算額】700万円	第1~2子 50,000円 第3子以降200,000円 【予算額】1,015万円	+315万円	
第3子以降の保育料無料化事業	第3子以降の3歳未満無料	第3子以降、卒園まで無料 ※18歳未満で第3子以降対象 【歳入予算額】1,500万円減	+1,500万円	県内2例目
妊婦健康診査事業	第1~2子の妊婦:5回を限度に助成 第3子以降:14回を限度に助成 【予算額】680万円	すべての妊婦:14回を限度に助成 【予算額】1,208万円	+528万円	県内2例目
不妊治療費助成事業	1年に月10万円を限度に助成 【予算額】60万円	1年に月20万円を限度に助成 【予算額】100万円	+40万円	

※上記のほか、チャイルドシート購入費補助など平成19年度に実施した子育て関連事業は平成20年度も継続して実施します。

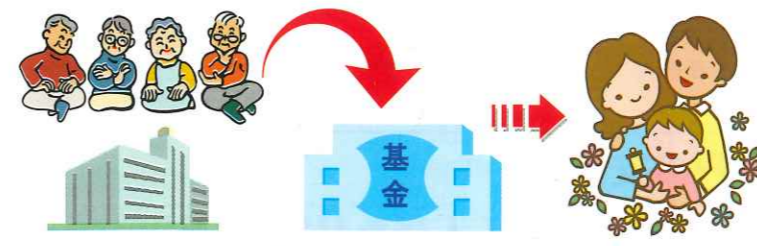
町ぐるみで子育てを応援しよう

若狭町赤ちゃん基金 創設!

若狭町では様々な方面から子育てを応援し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んでいきます。

その一環として「若狭町あかちゃん基金」を創設しました。

この基金は、子育て応援に賛同していただける住民や各種団体、企業からの寄付金を積み立て、子育てを支援する事業の財源とします。



●寄付金窓口 総務課 TEL0770-45-9109
子育て支援課 TEL0770-62-2704



総額 163億9,620万円 前年度比 13.8%減額

平成20年度一般会計について

【歳入】

償却資産の課税標準額増額などに伴い町税が5.0%増額。地方交付税は合併加算分の減額により5.5%減額。またCATV更新事業や地域福祉推進拠点施設整備事業が完了したため、県支出金が10.0%、町債が42.3%と大幅に減額となりました。

【歳出】

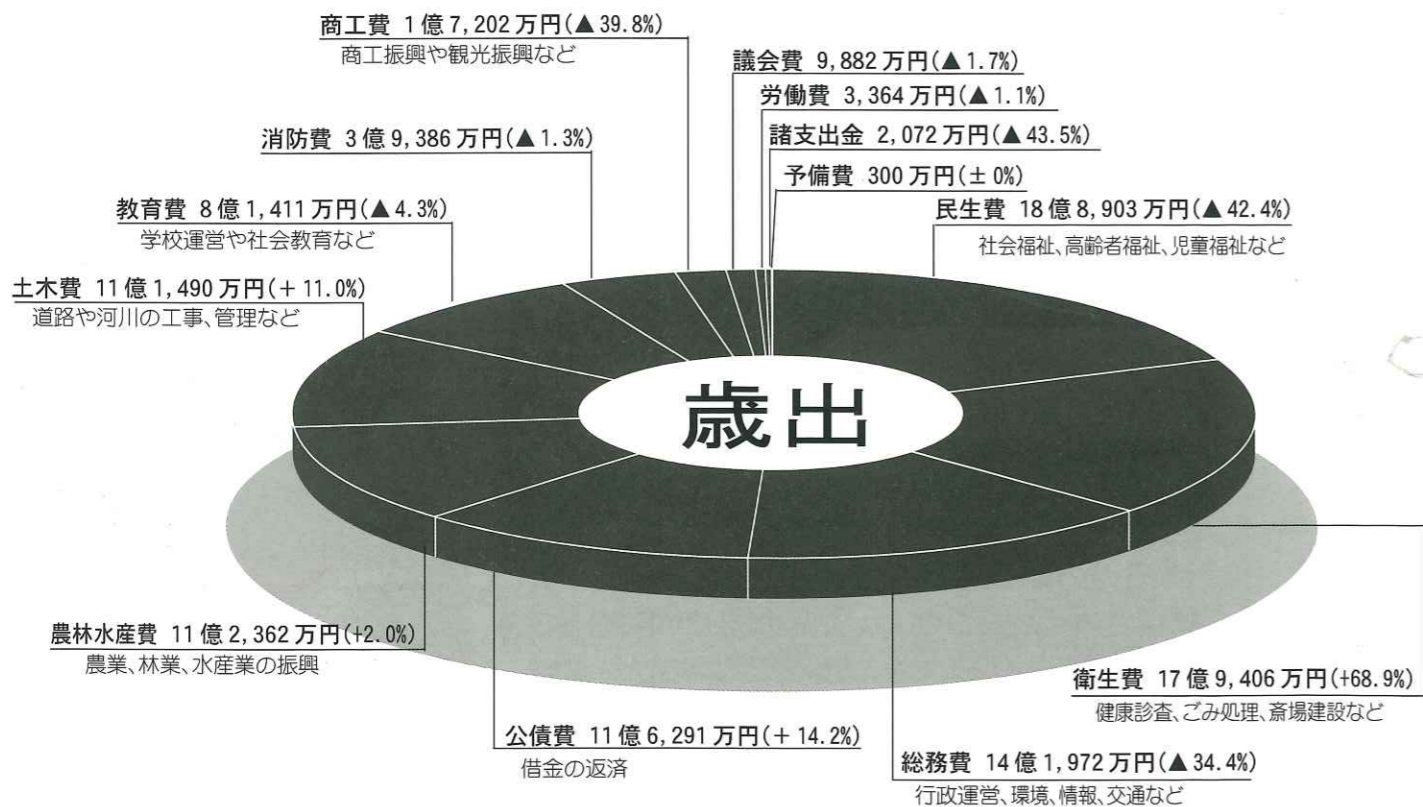
CATV更新事業や地域福祉推進拠点施設整備事業、中核工業団地公園整備など大型事業が完了したことにより、総務費、民生費、商工費は大幅に減額となりました。衛生費については北前川に整備する斎場施設整備事業(7億8,906万円)により68.9%増加して

います。そのほか農村総合整備事業や地域再生事業など継続事業の拡充により、農林水産業費、土木費が増加しています。教育費は小学校の管理費削減などにより4.3%の減額となりました。

なお、過去に借り入れた町債の元金償還が発生するため、公債費(借金の返済金)が14.2%増加しています。

若狭町の財政事情は非常に厳しい状況にあります。予算の執行にあたっては最小の経費で最大の効果が得られるように努力し、健全な財政運営を目指します。

一般会計 100億4,040万円 (前年度比▲11.4%)



一般会計 住民1人当たり約59万円の支出
借金残高は143億2,031万円、住民1人当たり約85万円(平成20年度末見込)

※3月1日現在人口16,930人で算出

平成20年度の主な事業

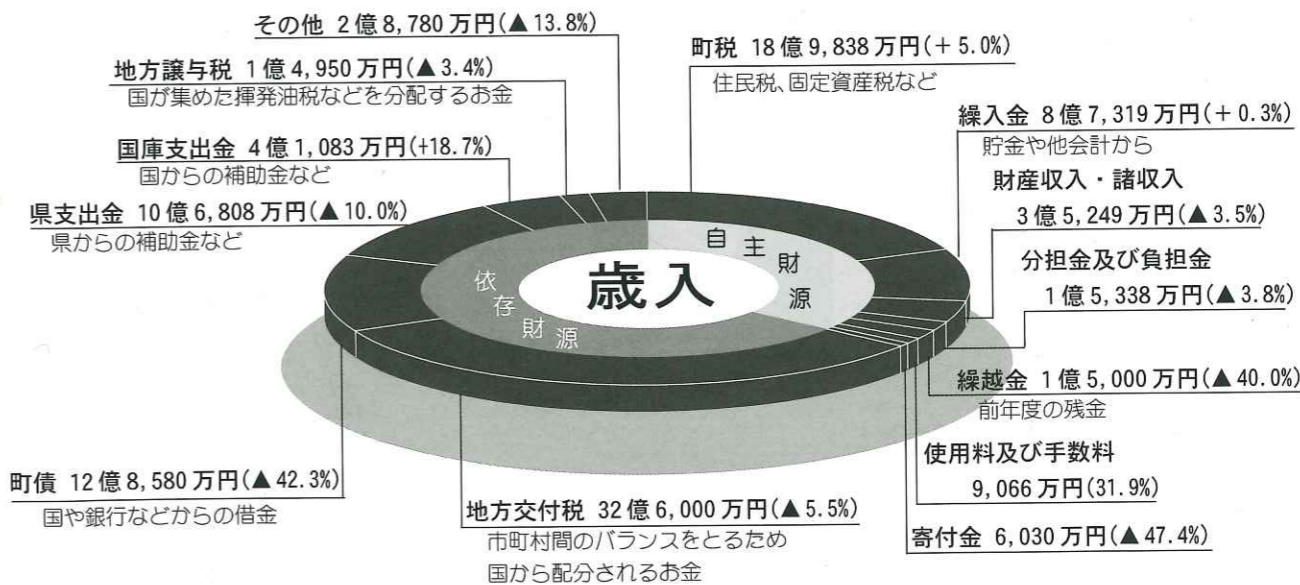
- バイオスタウン構想推進として、環境フォーラムの開催やペレットストーブ導入に…581万円
 - 環境問題への対応について総合的な行動目標を定めた環境基本計画策定に…574万円
 - 斎場施設の整備に…7億8,906万円
 - 可燃物焼却施設(上中地域)解体のための調査などに…712万円
 - 農村民泊、農業体験受け入れ、虫の生息地づくりなどの検討と試行に…134万円
 - 将来の若狭町の観光のあるべき姿を見据えたビジョン策定に…102万円
 - 町道鳥浜横渡線(地域再生事業)、町道東部74号線、東部148号線の整備に…3億4,708万円
 - 三方中学校の工口改修に…3,020万円
 - 佐久間記念館新築のための測量、実施設計に…1,113万円
 - 熊川宿の民家の修景整備に…3,550万円
- ※少子化対策事業は5ページに掲載しています。

特別会計 総額52億2,701万円(前年度比▲19.7%)

国民健康保険特別会計	16億5,379万円
老人保健特別会計	2億6,610万円
後期高齢者医療特別会計	1億9,054万円
直営診療所特別会計	1億537万円
介護保険特別会計	14億7,676万円
簡易水道事業特別会計	2億412万円
農業者労働災害共済事業特別会計	258万円
農業集落排水処理事業特別会計	4億5,235万円
漁業集落排水処理事業特別会計	3,947万円
公共下水道事業特別会計	6億3,047万円
観光宿泊施設特別会計	450万円
町営住宅等特別会計	1億5,281万円
土地開発事業特別会計	4,818万円

企業会計 総額11億2,880万円(前年度比▲3.8%)

水道事業会計	2億6,229万円
工業用水道事業会計	3,050万円
上中病院事業会計	8億3,601万円



【グラフの見方】

※()は前年度比
※円グラフ下の数字は、平成19年度の当初予算額の規模を表しています。

自主財源……町税など自ら確保することができるお金
依存財源……地方交付税や国、県からの支出金など、ほかの財源に頼るお金

※予算は千円単位ですが、広報では分かりやすいように万円単位で表しています。そのため端数が一致しない場合があります。

健全な財政運営を目指して 一般会計 100億4,040万円

特別会計 52億2,701万円 企業会計 11億2,880万円

二十二歳の自分にのこしたい言葉

館澤 史岳

2200万円の借金を抱え、完済した自分へ送る言葉

お前が二二〇〇万円の借金を背負ったのは、二十二歳のときだった。父が長年勤めた会社を辞めて、友人と事業をはじめたためにこしらえた借金だった。その後、身をくらしませた友人に代わり、連帯保証人になった父一人が負った借金だった。

お前は専門学校を卒業して、東京の建設会社に就職したばかりだった。故郷へ急ぎ駆けつけてきたお前に、父は何も語らなかった。友人を恨むことも言わなかった。人の良すぎる父だった。色を失い、ひび割れた唇を見てみると、憎しみよりも哀れみが先に立った。むしろ、「何とする、何とする」父を罵倒する母と姉への苛立ちが募った。世の中の右も左も分らない、恐れ知らずのお前だった。「我が返す」言い放った。

二十二歳だった。お前にも、それなりに夢はあった。保父さんになるために、学校へ通うつもりで貯金もしていた。夢を精算した金は、借金の利子にも満たなかった。二二〇〇万円という額は、途方もないものと思えた。

お前は、休みなく働いた。貧乏暇なしとはよく言ったものだ。考える時間が恐ろしかった。夜になると、死ぬことばかり考えた。先が真つ暗だった。人は、未来に何かがあつて、それを思い悩み死んでいくのではない。先が見えないから、先がないから死ぬのだ。お前は自殺する人の胸のうちを知ったような気がした。泣き疲れてみる夢の中でも、お前は泣き続けていた。二十二歳の自分に届けられる言葉があるとしたら、どんな言葉だろう？あれから十年。この五月に、私は無

事に借金を完済した。先日、友人がそれを祝ってささやかな打ち上げを催してくれた。その席上でなされた友人のすすめにしたがつて、私は今、この言葉を書いている。

お前は、さぞかし驚くことだろう。自分がしぶとく生き続けたことにも、わずか十年で借金を完済できたことにも。事情を知り尽くした友人が何人かいたことにも。何人かはお前のために泣き、共に憤つてくれる。そんな友なのだ。

「お前は前へ、前へと進んでいる。今は、そんな言葉を受け入れる余裕はないかもしれない。だが、お前は、新しい友人も得る。友人の誘いで職も変える。何度か恋をする。彼女はできないかもしれないが、それは借金のせいというより、お前のせいだ。だからお

前は、酒を飲んでくダも巻く。みなと同じように。お前の人生は、案外、普通の人生だった。

この夏には、父と二人で酒を酌み交わした。すっかり酒に弱くなった父は、真つ赤な顔で、お前にありがとうと言った。まだ、ぎこちないものはある。だが、お前は父を恨んだりはいない。恨むことはあつても、お前は父を許す。私を知っている。

お前は負けない。私を知っている。勝てなかったかもしれないが、お前は負けなかった。父のことも母のことも、姉のことも、姉の旦那のことも、友人のことも、自分のことも、誰一人として裏切つたりはしなかった。お前は生きる。私は生きている。

笑顔と一緒に。
伝えたい言葉があります。
伝えたい人がいます。
もつと、もつと、
明日へ、未来へ。



第6回 のこすことば 文学賞 受賞作品決定

第6回のこすことば文学賞の最終審査、発表会が2月18日、平安会館(京都市)で行われ、入賞作品40点(最優秀賞1点、優秀賞5点、佳作34点)が選ばれました。

審査の結果、最優秀賞に館澤史岳さん(埼玉県草加市)の作品「二十二歳の自分にのこしたい言葉」が選ばれました。町内からは、タイ人で美方高校留学生のカワーン・シャノークポリースさんと三方中学校1年生の石田健悟くん(井崎)が優秀賞に、中村宏江さん(三宅)、橋本和佳奈さん(安賀里・美方高2年)、田辺正和くん(海山・三方中2年)、井上広野くん(横渡・三方中1年)、中川勇馬くん(気山・三方中1年)がそれぞれ佳作に選ばれました。



発表会で講評を述べる梅原猛審査委員長と審査員。左から金田久暲さん(民俗学者)、増永迪男さん(山岳エッセイスト)、梅原猛さん(若狭三方縄文博物館館長)、道浦母都子さん(歌人)

外国人初の入賞者誕生!

その文章力に審査員驚く

外国人で初めて入賞したカワーン・シャノークポリースさんは、昨年3月に来日し、今年1月まで美方高校の留学生として在学していました。日本に来て感じた家族の大切さなどを「日本での私の思い」と題しつつ作品に、審査員は「来日1年未満の外国人の作品とは思えない。しっかりした文章です」と、その文章力に驚いていました。



カワーン・シャノークポリースさん

水筒が守ってくれたこの命

生きることをあきらめない

優秀賞を受賞した石田健悟くんは、2度の交通事故に遭遇した体験と衝突時のクッションとなり命を守ってくれた水筒、母の言葉に触れ、あきらめず生きる気持ちをつづりました。石田君は優秀賞受賞に「びっくりしました。大変うれしいです」と喜んでいました。



石田健悟くん

まちの話題

音を楽しみました

学校訪問コンサート (2/18、19)

関西を中心にオーケストラなどで活躍中の釋伸司さん率いる、関西の名手で編成された室内アンサンブル「クインテット・アッサンブラージュ」が学校(三宅小学校、明倫小学校、岬小学校、三方中岬分校)を訪問しコンサートを行いました。クインテット・アッサンブラージュはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノで構成。コンサートでは、児童たちが指揮者になったり、ヴァイオリン奏者になったりという一幕もあり大いに盛り上がりました。児童たちは、プロ奏者が奏する美しい音色に魅了されていました。



ヴァイオリンを体験する児童(岬小・三方中岬分校)

”やさしいきもち”になろうよ

人権意識高揚大会 (2/23)

人権意識高揚大会が三方公民館で行われました。大会ではテレビなどでお馴染みのジョン ギャスライトさんが「両手いっぱいウェルカム」と題し、自らの体験や活動を通じて人権の大切さについて講演しました。つづいて、昨年11月から募集した人権メッセージの表彰式が行われ、鳥羽正和人権教育推進協議会会長から受賞者に賞状と記念品が手渡されました。



人権の大切さを訴える
ジョン ギャスライトさん

人権メッセージ表彰作品

手をつなごう みんな友だち 大きなわ 「いやだ」って がまんしないで 言ってみて いじめはね 心にささる 針のよう とぎすませ 心という目で 人を見よう どうしたの げんきだしてよ なかないで やさしさは 心のきずの ぬり薬 いじわるな 心の病気 やっつけよう！ みんなにふりまけ 笑顔の薬 ひとりより みんなであそぶと たのしいよ またあした ひとりじゃないって うれしいね させないよ ぼくがされたら いやなこと 笑わないで 指差さないで 手を差しのべて 「ヒト」って何だろう 傷つける為にいるのかな そんなの違う お互い支え合っているから 「人」なんだよ 世界には いろんな人がいるけれど 人を分けるのはよくない みんな同じ 人間だから	みそみ小学校 三年 寺井翔虎 明倫小学校 五年 前美里 三方小学校 五年 吉田麻依 梅の里小学校 六年 安藤良祥 岬小学校 二年 橋本はなえ 鳥羽小学校 四年 森下はるか 瓜生小学校 三年 村上芹奈 熊川小学校 一年 片山裕芽加(親子) 三宅小学校 一年 左近菜奈 野木小学校 二年 北村拓也(親子) 上中学校 一年 杉井杏里 三方中学校 三年 石蔵公希	三方中学校岬分校 三年 藤村麻有 気山小学校 四年生
(標語) 人権カルタ		
〔作文〕瓜生小学校 三年 宇野成和、三方中学校岬分校 三年 寺本健也 〔絵手紙〕みそみ小学校 二年 三好結衣、梅の里小学校 二年 大下貴子		

大きく育ったワカメにびっくり!

ワカメ刈り取り体験 (2/25)

町内3小学校の児童(三方小4年生、梅の里小3・4年生、瓜生小3年生)がワカメの刈り取り体験を行いました。ワカメは昨年11月に児童たちが芽付けを行ったもので、この日は漁船に乗り込み船上に揚げられたワカメを鎌で刈り取りました。児童たちは、約1cmだった芽が3か月で1m以上のワカメに成長したことに驚きながら、茎をしっかり握り刈り取っていました。体験事業に協力した濱本一夫さん(遊子)は「最近の子どもたちは海離れの傾向があり、少しでも海を体験してもらって、海を好きになってほしい」と話してくれました。



成長したワカメを刈り取る児童(梅の里小)と濱本さん

わたしたちの使命

安田喜憲教授紫綬褒章受章記念講演 (3/9)

昨年に紫綬褒章を受章された安田喜憲・国際日本文化研究センター教授の記念講演が三方ショッピングセンターレピアで行われました。安田教授は「環境考古学」という新しい分野を日本で最初に提唱した第一人者です。三方湖・水月湖底のボーリング調査で採取した縞状の堆積物から、過去の環境を研究する「年縞法」を確立され、世界から注目を集めています。

「生命文明の世紀へ-三方五湖からの発信-」と題して行われた講演会には町内外から約100人が参加。安田教授は「三方五湖の美しい風土は人々が将来も美しい自然であることを信じてきた証拠。この美しい風土を残すことこそ皆さんの使命です」と話し、参加者は熱心に聞き入っていました。



講演する安田喜憲教授

小学生語り部大活躍

外国人留学生モニターツアー (3/6~7、13~14)

福井大学、立命館大学の留学生40人が1泊2日の行程で若狭町を体験しました。これは、国際的な観光立町を目指す町として、①外国人にとって何が魅力的か何が不足しているかを把握するため、②参加者の口コミによる母国からの集客のために行われたもので、参加者らは熊川宿やレインボーラインなどの名所を訪れ民宿で宿泊しました。

立命館大学のモニターツアーで、熊川宿を案内したのは熊川小学校4・5年生16人。児童たちは1年間熊川宿について学んできたことを、語り部として発揮しました。参加した留学生は「熊川宿は素晴らしい景観。子どもたちもかわいくて、おもしろい!」と喜んでいました。



立命館大学留学生に熊川宿について説明する
小学生語り部

※広報紙に「あなた」が写っていましたら役場企画環境課にご連絡ください。
写真をさしあげます。(TEL 0770-45-9110)

和 ~なごやかに~

若狭町長 千田千代和

「輝きと優しさに出会えるまち」をめざして
毎年4月は年度のスタートの月であり、しかも20年度は町議会議員の皆さんや私にとっても、与えられた4年間の最終年度でもある。3月の定例議会で承認いただいた今年的一般会計は100億4040万円、19年度に比べ12億900万円の減額、率にして11.4%のマイナス予算である。

債務残高が800兆円を超える国家財政の危機改革は、私ども弱小地方自治体を容赦なく直撃し、頼りとする地方交付税も32億6000万円です。19年度に比べ1億9000万円の減額である。町民の皆さんからお納めいただく町民税の9億3000万円と対比して、如何に大きな減額であるかがお分かりいただけるのではなからうか。

他方、都会と田舎の地域格差は大きく、特に公共事業をはじめとする地方経済の冷え込み等を考えると、行政としてもできる限りの活性化に

繋がる予算編成が必要であり、こんな時にこそ行政が先頭に立ち、できる限りの頑張りを見せなければならぬ。しかし、財政が極めて厳しくこれまでにないむずかしい行政運営を強いられ、正に試練の時代を迎えたと実感している。何か良い補助制度が無いのか、少しでも町の財源が少なくても有効な事業取り組みができないか、如何に民間活力を行政につなげることが出来るか、職員と知恵を絞りながら東奔西走のこの頃である。多少「グチ」めいた悲観的な年度の出だしとなったが、悲観的なとばかりでは町は良くなならない。町民の幸せにも繋がらない。町の将来のための施策は拱いてはならない。そうした中で19年3月にまとめた「若狭町総合計画」の通り、昨年は若狭町児童福祉審議会と若狭町文化振興ビジョン策定委員会を組織し真剣に協議をいただき、先日、児童福祉審議会については答申を、文化振興ビジョ

ン策定委員会については中間報告をいただいた。中でも少子化対策は町の将来を担ってくれる、そして将来の若狭町を左右する最も重要な施策と位置づけ、今年度から小学生の医療費無料化をはじめ子育て支援について大きく取り組みをさせていただいた。一方、文化振興ビジョンについても町の体質を示す大事な分野であり、自然環境との共存、歴史と文化の継承、芸術文化活動の創造、芸術文化情報の共有等、多くのすばらしい提言をいただいた。間口の広い、しかもそれぞれの専門分野を有するところも多々見受けられるが、町民一人ひとりが少しでも理解し参画していただくことが大事である。そして町民全体の人間形成とレベルアップをめざし、文化の薫り高い町づくりを成し遂げることが、若狭町のキャッチフレーズ「輝きと優しさに出会えるまち」に直結するのではなからうか。

広報クイズ

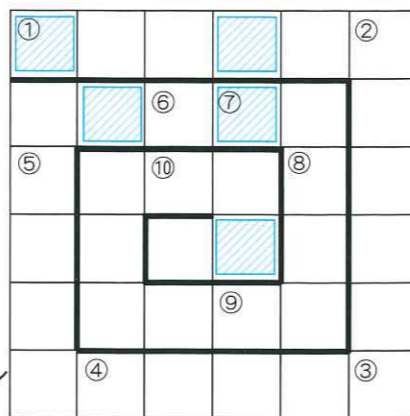
■応募方法■

キーワードを解いて、しりとりをしながら右回りにことばを入れてください。5つある青いマスの文字を並びかえると、答えになります。ハガキに答えと広報紙の感想やご意見、住所、氏名を書いて、〒919-1393若狭町役場企画環境課（住所は省略できます）まで送ってください。E-mailでも受け付けます (kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp)。正解者の中から抽選で5人に図書券が当たります。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。締め切りは4月15日(火)必着です。

しりとりうずまきクイズ

◇キーワード◇

- ①はじめて外国人受賞者が誕生しました ○○○○○○文学賞
- ②野球で打撃のこと。
- ③地球全体のことを英語で。
- ④バルカン半島で黒海に臨む共和国
- ⑤6月に行われます○○○○マラソン
- ⑥碁盤で楽しむゲーム。
- ⑦類人猿の中で最大の動物
- ⑧敵、見方入り乱れて、場外○○○○
- ⑨学校などの行事で、色グループなどで争います。
- ⑩歌や音楽の序奏のこと。



ヒント：梅の里小横にオープンする施設

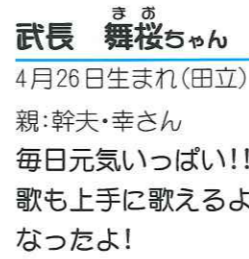
こたえ ○○○○○

広報クイズ3月号の答え「バイオマス」①ヒナまつり ②リュウグウジョウ ③ウグイス ④スイセイ ⑤インターネット ⑥トウヤコ ⑦コントラバス ⑧スタジオ ⑨オリ

このコーナーでは、その月に3歳を迎える町内にお住まいの男の子・女の子に登場していただいています。ご応募いただいた方のみ掲載しています。今回は平成17年4月生まれの3歳になるお子さまです。



岡本 珠月ちゃん
4月23日生まれ(三方)
親: 正明・美和さん
お姉ちゃん大好き♡
今日もいっぱい遊んでね~



武長 舞桜ちゃん
4月26日生まれ(田立)
親: 幹夫・幸さん
毎日元気いっぱい!!
歌も上手に歌えるようになったよ!

◇「3歳で〜す」応募方法◇
今回は平成17年5月生まれのお子さまが対象です。写真と25字以内のコメントを添えて、企画環境課または住民サービス室(上中庁舎)にお持ちください。(E-mailでの送付も可。)
4月4日(金)必着です。
●問い合わせ
企画環境課 (TEL 0770-45-9110)
E-mail: kikaku@town.fukui-wakasa.lg.jp
(E-mailでの送付の場合は受信確認のため、必ずお電話ください。)



冠句	川柳	短歌	俳句
若狭町冠句の会 夜も更けて 眠れぬ俣に 過去手繰る 洋々と 船出の今朝は 日本晴れ	ほっと川柳 自分史を歌に託して老を生き りんご売りりんごの歌で人を寄せ	川柳湖畔 追い風を味方に今日も舵をとる 操舵者のメガネ違いが命とる	海士坂俳句会 長閑なる過疎地に宝の嬰生まる 農小屋に残る肥料や春を待つ
森川 照湖(鳥浜) 定夫(鳥浜)	堀口 光江(兼田) 田中 文子(堤)	岡本 通子(日笠) 吉村恵美子(上野)	高橋 節子(海士坂) 竹内富士子(海士坂)
		岡本小百合(安賀里)	福谷 達二(小原)
		山口賀代子(氣山)	大崎 常子(氣山)
		上中短歌会 写りいる植木のみどり陽をあびて鏡の中に きらきら光る 熱き実を割りて薄皮はぎゆくに銀杏みどりの 光を放つ	かをり歌会 太郎冠者狂言の名の苗木買ふ老人会の 旅の途中に 夕間に閉ざされし雪の森蔭に小鹿一匹 何食みいるや
		小中 福(日笠)	田中 文枝(南)

